

石巻市一般会計721億円

新年度当初予算案 復興関連56.6%減

石巻市は6日、総額721億円の2023年度一般会計当初予算案を発表した。22年度当初比で1・0%減。東日本大震災の復興復興事業分は、ハード整備が本年度内に完了する見込みであることや被災者住宅再建補助事業の終了に伴い、56・6%減の9億3200万円となった。

主な歳出は、最終年度となる山下、中里地区を結ぶ七蓮蛇田橋道路整備に10億3138万円を計上。民間講堂を関る稲井110公園の助成費や統合・新設する公立石巻保育所、桃志と

雨漏りやコウモリ駆除

石巻市は新年度一般会計当初予算案で大川小の劣化対策に1000万円を計上した。天窓が抜け落ちて雨漏りが続く校舎南側の1、2年生教室棟、同棟と北側ホールを結ぶ道路の天窓の計2カ所の補修などに750万円、ふん害の原因となるコウモリの駆除委託料1171万5000円を充てる。

市は校舎を被災当時のまま保

大川小劣化対策 1000万円を計上

存在する「在庫保存」を基本方針とし、補修には慎重な姿勢だったが、斎藤正美市長が昨年12月に大川小を訪れ、劣化を確認。今年1月の定例記者会見で対策に着手する考えを示した。

大川小で定期ガイドに当たる「大川伝承の会」共同代表の佐藤敏郎さん(59)は「市長の訪問から早めに行動した市の姿勢を評価する。校舎を残して未来に伝承していくため、今後も市と対話を続けたい」と話した。

も園の整備に計る億4070万円を盛り込んだ。震災遺構「大川小」の補修には1000万円を充てた。

児童定業務委託など2347万円、市内に移住して活動するマンガクリエイターへの支援事業に160万円を割いた。



石巻市が天窓を補修する1、2年生教室棟(手前)＝6日、石巻市の震災遺構大川小